第３章　第９期計画の評価（案）

第９期計画（2024～2026 年）は、５つの基本目標を設定し、地域包括ケアシステムの構築を図ってきました。

計画の進捗状況については、５つの基本目標ごとに令和７年（2025 年）までのより具体的な取り組みと計画期間ごとの目標を示した「未来（2050 年）を見据えた第９期計画の指標」に基づき評価を行います。

基本目標１　生きがいと健康づくり・介護予防の推進

評　価

〇基本目標１は指標として 13 項目を設定し、Ａ評価は２項目、Ｂ評価が 11 項目となっています。

〇「生きがいがある高齢者」や「いきいきした地域づくり活動に参加者として「参加意向がある」高齢者」については 2023 年度実績から落ち込んでいるものの、「高齢者生きがい活動センター利用者数」や「地区公民館主催講座延べ受講者は目標に届かないものの、2023 年度実績から増加しています。

〇75 歳以上及び 85 歳以上の要支援・要介護認定率について、生きがいづくりや介護予防に関わる施策・事業を展開したものの、策定当時より年齢の高い高齢者が増えたことから要支援・要介護認定率としてはわずかに増加した状況です。

〇いつまでも元気で活躍いただくためにも、引き続き生きがいづくりや介護予防事業に取り組むとともに、改めて介護予防の必要性について周知・啓発に取り組む必要があります。

※実績欄の矢印は 2023 年実績から改善・上昇したものを↗、悪化・減少したものを↘と表記

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
1-(1)(2)	生きがいがある高齢者★	70.0%以上	67.2%↘	B
1-(1)(2)	高齢者生きがい活動センター利用者数	52,505 人	49,532 人↗	B
1-(2)	地区公民館主催講座延べ受講者数（一年度）	57,465 人	43,152 人↗	B
1-(2)	シルバー人材センター会員数	2,020 人	1,969 人↗	B
1-(3)	いきいきした地域づくり活動に参加者として「参加意向がある」高齢者★	70.0%	58.1%↘	B
2-(1)	成人（20～84 歳）の週１回以上の運動・スポーツ実施率【市民意識調査】	－	－	A

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
2- (2)(3)(4)(5)(6)	生活習慣を改善するつもりはない人の割合	男性 25.6% 女性 17.5%	男性 27.4%↗ 女性 19.0%↗	B
3-(1)	健康の保持・増進や介護予防のために、心がけていることが「特にない」高齢者★	0.0%	5.6%↘	B
3-(2)	ひろば de 体操　実施箇所数	24 か所	21 か所→	B
3-(2)	いきいき百歳体操実施グループ数　参加者数（活動支援１回目）	187 グループ 2,351 人	184 グループ↗ 2,457 人↗	A
3-(2)	介護予防推進員　登録者数	163 人	116 人↘	B
3-(3)	75 歳以上高齢者の要支援・要介護認定率	32.0%以下	33.0%↘	B
3-(3)	85 歳以上高齢者の要支援・要介護認定率	61.0%以下	63.0%↘	B

基本目標２　地域における支援体制の充実

評　価

○基本目標２は指標として 11 項目を設定し、Ａ評価は８項目、Ｂ評価が３項目となっています。

○地域包括支援センターの認知度やかかりつけ歯科医・薬局のいる高齢者など、９項目が目標に届かなかったものの、2023 年実績を上回り、改善傾向にあります。

○高齢化の進展に伴い、日常生活で支援を必要とする高齢者や医療を必要とする高齢者が増えていくと予測されます。身近な相談の場である地域包括支援センターを中心としつつ、関係機関と連携体制をさらに強化し、日常生活における不安の解消と適切な支援につないでいくがあります。

※実績欄の矢印は 2023 年実績から改善・上昇したものを↗、悪化・減少したものを↘と表記

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
1-(1)	地域包括支援ネットワーク会議の開催・出席回数	520 回	888 回↗	A
1-(2)	地域包括支援センターの認知度★	50.0%	46.3%↗	A
2-(1)	地域包括支援センターの相談件数	36,230 件	34,133 件↗	A
2-(2)(3)	いきいきした地域づくり活動に企画・運営として「参加意向がある」高齢者★	40.0%	32.4%↘	B
3-(1)	入院時情報連携加算件数	1,552 件	1,536 件↗	B

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
3-(1)	退院退所加算件数	648 件	631 件↗	B
3-(1)	在宅療養支援診療所数	66 か所	72 か所↗	A
3-(2)	かかりつけ医のいる高齢者★	95.0%	80.1%↘	A
3-(2)	かかりつけ歯科医のいる高齢者★	90.0%	77.1%↗	A
3-(2)	かかりつけ薬局を決めている高齢者★	80.0%	64.0%↗	A
3-(2)	人生の最終段階における医療について話し合ったことがある高齢者★	45.0%	45.0%↗	A

基本目標３　認知症施策の推進

評　価

○基本目標３は指標として６項目を設定し、Ａ評価は３項目、Ｂ評価が３項目となっています。

○認知症に対する理解促進に向け、地域包括支援センターをはじめとした関係機関と連携し、認知症月間における周知や認知症サポーター養成講座の開催などの様々な場や機会を通じて、周知・啓発に取り組んでいます。結果、認知症に関する相談窓口の認知度は目標を大きく増加し、Ｂ評価の項目も目標には届かなかったものの2023 年実績を上回り、改善傾向にあります。

○「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和５年６月 14 日に成立し、認知症の人本人の声を尊重し、誰もが認知症になり得ることを前提に、認知症になっても希望を持って、自分らしく暮らし続けることができるという「新しい認知症観」に基づき施策を推進することが重要とされています

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
1-(1)	認知症に関する相談窓口の認知度★	25.0%	33.6%↗	A
1-(2)	認知症サポーター養成講座受講者数（年度末累積）	35,196 人	32,786 人↗	B
2-(2)	みまもりあいアプリダウンロード数	11,000 件	12,551 件↗	A
2-(3)	認知症カフェがある中学校区数	18 校区	13 校区→	B
3-(2)	チームオレンジ設置数	15 件	4 件↗	B
3-(3)	認知症初期集中支援チームが医療介護保険サービスにつないだ割合	90.0%以上	98.0%↗	A

基本目標４　生活支援・介護保険サービスの充実

評　価

○基本目標４は指標として 14 項目を設定し、Ａ評価は７項目、Ｂ評価が６項目、Ｃ評価は１項目となっています。

○サービス事業所に関する目標は増加・もしくは横ばいと、現状を維持できている状況にあります。また、介護人材の確保や離職防止、サービス事業所における職場環境の改善や生産性の向上などに取り組む事業所に対し補助金の交付や個別相談、研修会の開催などに取り組んだことが一定の効果に結びついたと考えられます。

○今期の介護保険事業計画においては「介護人材確保と職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援等」が見直しのポイントの一つとなっていることから、引き続き状況の把握に努めつつ、大阪府や周辺自治体とも連携しながら事業所支援に取り組む必要があります。

○引き続き、利用者の動向やニーズを把握しつつ、必要な介護保険サービスの確保に取り組む必要があります。

施策の方向と展開	指標		第９期		
			目標	実績	評価
1-(1)	広報インセンティブ付与件数	居宅	6 事業所	0 事業所↘	C
		通所型	9 事業所	6 事業所↗	
		訪問型	4 事業所	0 事業所↘	
1-(2)	自立支援型ケアマネジメントを十分に理解している事業者【自立支援型ケアマネジメント研修アンケート】		100.0%	100.0%↗	A
2-(1)	訪問型サポートサービス事業所数		128 事業所	124 事業所→	A
2-(2)	通所型サポートサービス事業所数		95 事業所	93 事業所→	B
3-(1)	救急医療情報キット延べ配布数		18,447 人	18,608 人↗	A
3-(3)	介護を理由に退職した介護者★		0%	10.5%↗	B
4-(1)	ポータルサイト「すいた年輪サポートなび」アクセス数		116,652 回	585,249 回↗	A
4-(2)	「社会福祉法人等による利用者負担軽減事業」の実施申出をしている市内の社会福祉法人		100% 新規参入の法人は必須	51.7%↗	B
5-(1)	人材不足を感じている介護保険サービス事業所の割合（訪問介護員）【吹田市介護保険サービスにかかる事業所・従業者実態調査】		72.4%	71.1%↗	B

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
5-(1)	人材不足を感じている介護保険サービス事業所の割合（介護職員）【吹田市介護保険サービスにかかる事業所・従業者実態調査】	50.6%	63.1%↘	A
5-(2)	受けている介護保険サービスに満足している利用者の割合★※全体を通しての満足度	60.0%以上	70.6%↗	A
5-(3)	認知症対応型共同生活介護整備箇所数	22 か所	19 か所→	B
5-(3)	看護小規模多機能型居宅介護整備箇所数	3 か所	２か所→	B
5-(3)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護　整備箇所数	4 か所	４か所↗	A

基本目標５　安心・安全な暮らしの充実

評　価

○基本目標５は指標として７項目を設定し、Ａ評価は２項目、Ｂ評価が４項目、Ｃ評価は１項目となっています。

○特殊詐欺被害の防止に向け、市報すいたや市ホームページ等を通じた啓発、セミナーの開催や高齢者が集う場で周知活動を行いましたが、件数が増えたためＣ評価となっていますが、そのほかの項目は維持・増加につながっています。

○引き続き、高齢者の安全と安心を守る様々な施策・事業に取り組む必要があります。

施策の方向と展開	指標	第９期		
		目標	実績	評価
1-(2)	吹田市居住支援協議会の相談件数	200 件/年	121 件/年↗	B
2-(1)	バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連経路などの整備延長	17.3 ㎞	16.7 ㎞↗	B
3-(1)	自主防災組織活動支援補助金活用率	100.0%	90.1%↗	B
3-(2)	住宅用火災警報器設置率★	100.0%	73.3%↗	A
3-(4)	特殊詐欺被害件数	0 件	154 件↘	C
4-(1)	高齢者虐待について理解できていない介護者の割合	0.0%	13.7%↗	B
4-(2)	成年後見制度認知度	40.0%	31.8%↗	A